授 業 科目名	【 G カ リ キ ュ ラ ム 】 教養演習 I ・ II ※本年度は開講せず 【 E F カ リ キ ュ ラ ム 】 教養演習 I ・ II	選択履修	開講年次	[G] 2 [EF] 2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目/【G】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-)		 教科の指導法に		• - • - • -)	(DI ) 2
担当形態	【G】教員の免許状取得のための (-・-・-) 科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	検定試験を通じて学ぶ		担当者		谷津 貴久	
授業概要	【概要】  技能系・知識系を問わず、情報処理関連の検定試験は数多くあります。それらの試験は過去問題・模擬問題を公開していることが多く、学習に活用することができます。  この演習では、各種情報処理系検定試験の過去問題・模擬問題に取り組むことにより、情報処理技能・知識の定着を図ります。  【到達目標】  各種検定試験の過去問題・模擬問題を合格点まで取れるようになることが目標です。  「情報リテラシー」の単位を修得済みであること。					
及沙水口						
教科書・ 参考書	【教科書】 使用しない 【参考書】 矢沢久雄(監修)『ITパスポート合格講座 改訂第2版』日経BP社					
授業回数	授業内容					
授業内容	<ol> <li>タイピング (ポジションと日本語単語)</li> <li>日商 PC 検定 3 級の知識問題 (共通分野)</li> <li>日商 PC 検定 Basic (文書作成)技能</li> <li>日商 PC 検定 Basic (データ活用)技能</li> <li>タイピング (日本語文章)</li> <li>日商 PC 検定 3 級の知識問題 (文書作成)</li> <li>日商 PC 検定 3 級 (文書作成)基本技能</li> <li>日商 PC 検定 3 級 (文書作成)作表</li> <li>日商 PC 検定 3 級 (文書作成)作図</li> <li>日商 PC 検定 3 級 (データ活用)</li> <li>日商 PC 検定 3 級 (データ活用)</li> <li>日商 PC 検定 3 級 (データ活用) 基本技能</li> <li>日商 PC 検定 3 級 (データ活用) 上ボット・集計</li> <li>日商 PC 検定 3 級 (データ活用) グラフ作成</li> </ol>	16. 後期に取り組む 17. J検(情報活用 18. タイピング (9) 日商 PC 検定 3 (20) 日商 PC 検定 3 (21) 日商 PC 検定 2 (23) 日商 PC 検 定 2 (24) 日商 PC 検 定 2 (25) (26) タイピング (27) 日商 PC 検 (14) 日 ア (15) 日	<ul> <li>3級</li> <li>英単語)</li> <li>級(プレゼン)</li> <li>級の知識問題(選級の知識問題(選別の知識問題)</li> <li>(基本ステム)</li> <li>(基本ス</li></ul>	基本技能 表現技術 共通分野) 大書作成) 技能 ル デザインスキ データ活用)		
予習 復習 内容	予習として、知識問題は問題文をよく読んでおくこと、技能問題は自分で試してみることを求めます(60 分程度)。復習として、知識問題は間違えた箇所・知らなかった箇所の理解を深めること、技能問題はその日の内容を独りで再現してみることを求めます(120 分程度)					
評価方法	取り組んだ過去問題・模擬問題の最終的な到達度(70%)と演習への参加態度(30%)で評価します。					
評価基準	上記評価方法に従い,参加態度が良好で演習内容について到達目標に達することができた人には「A」,一部不十分な参加態度や到達度がある人については,その程度に応じて「B」または「C」とします。それらが著しく低い場合には,その程度に応じて「D」または「E」とします。					
その他	実際に検定試験を受けることは求めず、学習の題材として検定試験の問題を利用します。  ※G カリ:法【I は選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】スポ【I は選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】情【I は選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】 / EF カリ:法【選択必修(γ)】 スポ【選択必修(γ)】 経【選択必修(γ)】					